



子どもたち 先生方の笑顔のために

共に歩まん

壁面に掲示してご活用ください



令和4年12月14日発行

第17号

長野県中信教育事務所

←過去の「共に歩まん」はこちら

日本語教育に関する研修会がありました

外国由来の背景をもつ子供への日本語教育について考える

11月24日(木)に松本市立並柳小学校を会場に、第2回中信地区外国人児童生徒等指導研修会が行われました。内容は授業公開(三ツ木裕樹先生)、演習「コースデザインを作ろう」、情報交換会「教材紹介をしながら語り合おう」でした。

授業場面



各自の学習内容を確認



ICT端末を利用したの単語等の学習



授業終末での「今日の取組」の振り返り

意見交換



授業を通して考えたことを意見交換



「コースデザイン」について学ぶ



持ち寄った教材を基に実践の語り合い

参加された先生方の感想

三ツ木先生が今日やることやまとめをしっかりと示し、たくさんほめて、子供の言いたいことややる気を上手に引き出していました。ICTの活用はとても効果的で、フラッシュカードを提示するテンポを上げてもどんどん覚えていけると思いました。様々な学習場面を取り入れ、飽きない工夫がありました。学年の異なるそれぞれの児童に合わせて上手に指導時間を配分していると思いました。

「コースデザイン」は、やはり必要だと思いました。コースデザインがあることで、指導に見通しをもて、プランを組み、みとどけ、振り返り、評価につなげていくことができます。限られた時間の中で、最大限に児童の能力を引き出し、学習を深めていくことが、子供の未来につながると思います。

学級担任の立場で参加し、新しい視点を獲得することができました。私の中学校でも外国由来の生徒がいますが、その子の学びに結び付けられそうなヒントをいくつもいただきました。先生方と直接お話することで、新しい教材を知れたり、同じ悩みをもつ先生方のお話をお聞きしたりすることができて、ありがたかったです。

三ツ木先生の実践から個別に支援する際の工夫等を学べたね。また、子供の実態を踏まえて、どのような日本語を、<いつ・どのくらいの期間・どの順番等>で指導していくかという「コースデザイン」を作成することの大切さも確認することができました。

